

## カフェマスターのつばやき

和田正則



### 鎌倉より愛をこめて

■「ブックススペース栄和堂」を開いて二年を過ぎ三年目に入りました。この店は、「本棚に囲まれたコーヒースタンド併設の憩いのスペースをつくる」というコンセプトで開店させたものです。ぼくはそのカフェマスターというわけです。通常は店に置いてある本を読みながらコーヒーを飲むという使い方ですが、その他にも音楽ライブやワークショップ、展示会なども行われます。いずれは、映画上映もしたいと思っています。そういえば、今公開されている山崎貴監督の映画『Destiny 鎌倉ものがたり』でエキストラ募集のサイトがあったので、そこからうちの店をロケに使ってくれと頼んだのですが当然のように無視されました。

「栄和堂」があるのは、鎌倉の西端の藤沢に近い深沢という地区で、湘南モノレールの湘南深沢という駅のすぐ近くです。鎌倉というと鶴ヶ岡八幡宮や大仏などの神社仏閣、さらに小町通りや由比が浜通りなどが有名で多くの観光客が訪れますが、深沢地区はそこから外れていて静かで暮らしやす

いまちです。最近では鎌倉駅と大船駅周辺に次いで第三の拠点と言われるようになりました。

■鎌倉で映画という何と言っても大船にあった松竹大船撮影所を思いうかべる人も多いかと思いますが、松竹大船撮影所は1936年に蒲田から移転して2000年に閉鎖されるまで、「男はつらいよ」シリーズなど数々の作品がここで作られました。1995年には「鎌倉シネマワールド」という映画テーマパークができて、『男はつらいよ』のセットなどが展示されていましたが、3年で閉鎖してしまいました。もちろんぼくも行きましたが、1回見ればもういいかという感じですからリピーターが増えなかったのでしょうか。ぼくも店をやって

感じるのはいかにリピーター化させるかが営業的には重要なんです。

鎌倉にはもうとつくにいわゆる映画館というものがないのですが、小町通りの先の鶴ヶ岡八幡宮に近いところ



川喜多映画記念館

に「川喜多映画記念館」があります。映画製作者として有名な川喜多長政、かしこ夫妻の旧宅跡に建てられたもので、鎌倉にちなんだ映画などの上映イベント、展示などを行っています。現在、「巨匠が愛した女優たち」なんていう企画展をやっているように映画好きには一度は行ってみたいところですよ。

このたび編集長からの依頼でこのコラムを担当することになりましたが、今回書いたように鎌倉と映画の結びつきもけっこうあるのでそんなことも含めて、鎌倉からホットな情報を発信していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。